

平成28年度春日井市地域包括ケア団地モデル事業報告

1 モデル事業の推進体制

(1) 推進連絡会議の開催

- 9月 モデル事業の概要説明
地域課題のワーキンググループを実施
- 12月 実施予定事業の素案説明
- 3月 実施予定事業の現状と今後の予定の報告

(2) 部会の開催

- 「居場所づくり」、「多世代交流」、「介護予防・日常生活支援」
- 10～11月 モデル事業の取組みの検討

(3) 生活支援コーディネーターの参画、事業推進員の配置(地域包括支援センター:春緑苑)

2 実施予定事業

事業区分	事業内容
(1) 居場所づくりと地域活動の活性化	ア 空き家や既存の拠点施設等を活用し、居場所づくりの環境を整備し、住民主体サービスや地域活動の活性化を図る。 <ul style="list-style-type: none">○ 地域活動に必要な備品の購入等○ 活動拠点の施設整備(バリアフリー化、エアコン等)○ 空き家利用のための調整 イ URと連携したサロン活動などの居場所を確保する。 <ul style="list-style-type: none">○ UR団地の集会所の無償利用に関する覚書の締結
(2) 多世代や地域における支え合い等の普及啓発	ア 多世代の支え合い等の住民啓発を行う。 <ul style="list-style-type: none">○ 中部大のCU+の学生による地域イベントのボランティア参加、多世代交流○ 中部大の保健師学生による地域ニーズ調査、実地研修 イ 地域住民参加型防災訓練により、災害時の協力体制の構築を図る。 <ul style="list-style-type: none">○ 障がい者施設の防災訓練への地域住民参加 ウ 地域での支え合いと元気な高齢者の社会参加の推進をする。 <ul style="list-style-type: none">○ ちよっとお助けサービスの協力者の育成○ ゴミ出しに不自由している高齢者世帯の地域住民による

事業区分	事業内容
	<p style="text-align: center;">支援</p> <p>エ 小中学生や高校生に対し、職業体験や福祉等について学習する機会等を設け、認知症高齢者や障がい者等に対する理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生、高校生の福祉施設での職業体験 ○ 学校における認知症サポーター養成講座の実施
(3) 高齢者と子どもの「縁活」応援事業	<p>ア 高齢者の特技を活かして、子どもの家や高齢者サロン等で高齢者と子どもの交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 老人クラブなどが子どもたちに講師等を実施
(4) 健康づくり、介護予防の実施	<p>ア 健康づくり教室を開催し、気軽に認知症予防に取り組める環境の整備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な公園にコグニサイズができる環境を整備 ○ 介護予防教室や公園、散歩道などの歩こうマップを作成
(5) 相談窓口の設置	<p>ア 高森台・石尾台地区の居場所で地域包括支援センターによる定期的な相談窓口を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所などで出張相談を定期的実施
(6) 外出支援への取り組みの実施	<p>ア ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の外出を支援するため意向調査を実施し、支援方法などを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣とのつながりが比較的薄い「団地」において外出意向調査の実施
(7) 「ハートフルパーキング」登録制度	<p>ア 訪問診療、訪問介護等の医療・福祉関係者や市職員が訪宅する際の駐車場を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設、UR、店舗、個人宅等の駐車場を有効活用するため、協力者の募集・利用手続の検討
(8) 地域の見守り活動の推進	<p>ア 認知症高齢者の行方不明者の捜索などの訓練をICT（スマートフォンのアプリ機能）を活用して実施し、地域の見守り活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症高齢者の徘徊捜索模擬訓練を実施し、地域の見守り活動を推進